



廿日市市教委だより

令和5年
2月20日
第10号



～ 子どもたちの笑顔を守るのはわたしたち ～

この冬は全国的に厳しい寒波と降雪に見舞われ、例年よりも寒さが厳しいと感じています。寒い時期ですが、なるべく季節感やこの時期ならではの楽しみを、子どもたちに感じてもらえるような活動をしていきたいですね。また、この季節特有の感染症にも気を付けなければいけません。しっかりと予防対策をしながら、子どもたちの健康管理には気を付けていきましょう。



令和4年度 生徒会サミット

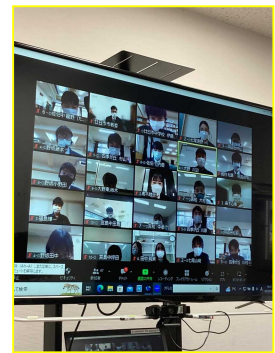
令和5年1月31日（金）に生徒会サミットが開催されました。生徒会サミットは本市中学校の生徒会代表が集まり、各校における生徒会活動の情報交換や意見交流を行ったり、設定したテーマについて協議し、相互に理解を深めたりすることで、市内の生徒会活動の活性化を図るとともに、身の周りの問題を自ら解決しようとする生徒の自主的・実践的な態度を育むことを目的としています。

今年度は「**みんなが安心して過ごせるいじめのない学校にするために**」というテーマで、各校3名の代表生徒が、ファシリテーターである大学生の力を借りながら、7つのグループに分かれて熱心に協議を行いました。参加した生徒からは、

- 「いじめは許されることではないと強く伝えたい。生徒会執行部を中心に学校の生徒全員でいじめの問題について深く考えていきたい。」
- 「自分たちのグループでは出なかった意見が、他グループではたくさん出ていて、自分たちの視野がさらに広がった。」といった感想がありました。

本サミットで協議したことを踏まえ、各校において、次年度の「命の大切さについて考える日」に、生徒会執行部から「いじめ撲滅に向けてのメッセージ」を発信してもらいます。

本サミットでつながった想いが、各校で鮮やかな花を咲かせることを期待しています。



Zoomによるオンライン開催

大野学校給食センターで学校給食フェスタを開催!!

令和5年1月29日（日）に学校給食フェスタを開催しました。学校給食フェスタは、学校給食を通して、市民全体の健康につながる食育情報を発信する新しいイベントです。ここでは、当日の様子を少しご紹介します。



移動式煮炊き釜での調理実演



豚汁を求めて長蛇の列が！

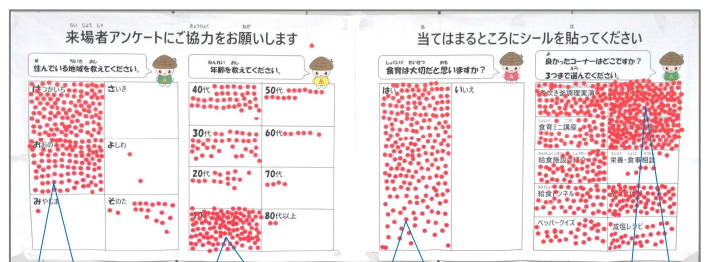


食育ミニ講座「減塩の工夫」



大人気の釜混ぜ体験コーナー

↓シール形式でアンケート調査を行ったところ、このような結果になりました。



- 廿日市、大野からの参加
- 子どもの参加多数！
- 全員が食育は大切と回答
- 1番人気は豚汁の試食

来場者は300名を超え、多くの方に楽しんでいただくことができました。学校給食フェスタが、食への興味や関心を高める良い機会となったのであれば、嬉しいです。

キャリア教育の充実に向けて

【これまでの人生を前向きに振り返らせよう！】

小学校6年生でも12年、中学校3年生でも15年の人生経験があります。児童生徒なりに山あり谷あり、失敗や苦労があり、努力や工夫もしてきたと思います。そうした「これまでの人生」を肯定的に振り返り、改めて今後の人生を考える機会があっても良いのではないのでしょうか。

【人生を振り返る技法】(例) ライフライン

これまでの人生を上下行する曲線で描かせる技法です。白い紙を横向きにして上下を半分に分ける横線を引き、上が人生でプラスであった時期、下がマイナスであった時期として、時系列にそってこれまでの人生を曲線で表現します。

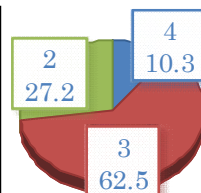
特にプラスであった時期にはその理由を追加記入し、あわせてマイナスからプラスに変わったきっかけも記入させます。こうすることで「**自分はどういう人生をプラスと考えているか**」「**人生のマイナスをプラスに変えるきっかけにはどんなものがあるか**」が可視化されます。

これまでの人生を肯定的に受け取めていない児童生徒には、本人の努力や工夫を肯定的に認め、児童生徒一人一人にとっての「人生の幸せ」を、一緒に考えてあげてください！

「学びの革新」の更なる推進

令和4年度は、廿日市市教育委員会の指導主事が学校への訪問指導を行うときには、授業づくりの段階から事前訪問し、授業者の先生と一緒に「主体的な学び」を研究してきました。秋以降訪問した学校では、「学びの革新」アンケートを実施し、研究授業の授業者だけではなく、校内の先生方に次の項目を回答していただきました。結果と併せて、ご紹介いたします。

Q 教師がしゃべりすぎないよう児童生徒の主体的な学びをファシリテート(考えを引き出す、発言を促す、意見交流を活発化させる等)している。



単位：%

- 4 当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまらない
- 1 当てはまらない

肯定的回答は72.8%でした。「ファシリテート」を1つのキーワードとして市内全体で研究し、「従来の学び方では、主体的な学びは実現しない」ということを各研修の場で先生方と共有してきました。

令和5年度は、100%を目指していきましょう。

アテンション ぶい~ず !!



大田栄養教諭

勉強大好き！
お休みの日でも、オンライン研修で、食に関する
ことを学んでいます！
何でも好き嫌いなく食べます！



大田先生は、今年度より大野東小学校に赴任し、子どもたちの食育に意欲的に取り組んでおられます。また、大野学校給食センターでも、日々、栄養バランスのよい献立を考えてくださっています。



Q 先生方には、どんなアプローチをしていますか？

夏に教職員研修を行いました。その際、食育を様々な学習活動と関連付けることや、クイズ形式で給食についての実態に興味を持ってもらうことを意識して行いました。

Q 子どもたちや先生方に変化はありましたか？

子どもたちは、食に関する興味関心が高まってきました。家庭で自ら実践できるようになってきた子どもたちも増えてきました。

先生方も、食に対する意識に変化が見られ、夏の研修後には、大幅に残食が減った学級もありました。

Q 皆さんに伝えたいメッセージはありますか？

成長期の食は、将来の体づくりの基礎です！

Q 学校では、どんな取組をされていますか？

委員会活動では、給食の残食状況を知ってもらい、課題意識をもった上で、子どもたちが主体的に取組を考え、タブレット端末を活用した「給食投票」を行ったり、「食べようデー」にたくさん食べた学級にメダルの授与を行ったりしています。

各学級では、担任の先生と連携し、全学年でTTによる授業(発達段階に応じた内容)を実施しています。

子どもたちの健全な食の為に貪欲に学び、熱い思いで様々なことに意欲的に取り組む、素敵な先生です！